

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	乳房外パジェット病	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル		
	論文の日本語タイトル	埼玉県立がんセンターにおける15年間の外陰部Paget 病の治療経験	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し ()	
	ガイドライン上での目次名称	PagetCQ9-2	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I V)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Skin Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	12	
	号	3	
	ページ	374-377	
	ISSN ナンバー	0915-3535	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (1)	
	発行年月	2005	
	著者情報		氏名
筆頭著者		並木剛,	埼玉県立がんセンター
その他著者 1		柳川茂	
その他著者 2			
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

一次研究の 8 項目	目的	臨床病理学的因子と予後との相関を検討する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	埼玉県立がんセンター	
	対象者	乳房外 Paget 病患者 30 人	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 1 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 15 ）	
	介入（要因曝露）		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	6		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	7		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	8		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	9		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	10		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	性比は男 3:女 1 で、平均年齢は 69.4 歳。皮膚症状としてはびらんが最も多く 23 例、結節が 4 例、白斑が 2 例であった。大原 TNM 分類では I 期 16, II 期 8, III 期 2, IV 期 4 例で、I～III 期の全例は手術のみで生存、IV 期は全て死亡した 28 例中 25 例にマージン 2cm 以下の縮小手術を行ったが、再発はみられない。	
	結論	不必要な拡大手術は不要である	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	八田尚人	

	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ I V ） TNM 分類と予後とを関連づけて報告している。N2 例が全て死亡していることから積極的な郭清を疑問視するコメントがある
--	------------	---